



「子どもたちのために」の思いで 実践を学びあう 「刺激になった」教育のつどい

未来をひらく教育のつどいIN東牟婁

二月五日(土)、

東牟婁地方で未来をひらく教育のつどい【分科会】が行われました。今年度は、分科会のみで開催、県立新翔高等学校、新宮市立光洋中学校、串本町文化センターの三か所に分かれて実施し、一九九名の参加がありました。

当日、久しぶりに顔を合わせる先生や初めて参加される先生など、他支部から続々と先生方が到着する姿を見ていると、学校、地域を超えて



交流できるこの機会にワクワクしたことを覚えていきます。今年度は元開催ということでも、声を掛け合い、参加する先生も増えました。特に、事務職員部では、未組の先生もたくさん参加されたと聞いています。

参加された先生方からは、「子どもへの寄り添い方や先輩方の話を聞いて、これからも頑張ろうと思った。」「先生としても母親としても、様々な視点で物事を考えるきっかけとなった。」「組合の



教研は、あたたかい雰囲気や発言もしやすく、優しく受け入れてくださる。」「学習指導について、様々な考え方を知り、自分のやり方(考え方)を振り返ることができた。」「串本町戦争遺跡探検ツアーに参加して、戦争の怖さと愚かさをしっかりと伝えていかなければならないと思った。」「などの、感想をいただきました。特によく聞こえてきたのは「いい刺激になった。」「という声です。

東牟婁支部書記長 中西 弘美



それぞれの立場、校種で、考え方も人それぞれ違いはあるものの、『子ども達のために』という同じ想いで、日々奮闘している姿を目の当たりにし、語り合い、パワーをもらったことと思います。

運営に携わっていたいただいたすべての皆様、参加者の皆様のおかげで、充実した『教育のつどい』になりました。本当にありがとうございます。



先日、医療的ケアを必要とする子どもたち、保護者、関係する方々、八〇名が参加し、クリスマス会を行いました。何日も前から準備し、学生などのボランティアさんも協力してくれて、たくさん笑顔があふれ、立場関係なく、司会をしながらとても幸せな気持ちになりました。

高市首相の存立危機事態発言で他国との関係に変化が生じています。「台湾と中国は一つの国」という世界の立場(日中共同宣言)により日本もこの立場を覆した発言です。

こういった話の中で、よく「攻められた場合」が出されますが、攻められたら誰かの命が奪われます。攻められないようにするためには何をすべきか?首相の発言が正しいか正しくないかの議論ではなく、この発言が友好な他国との関係を築くものかどうかで吟味すべきだと思います。一人一人の幸せを守るために。(Y)

リラックスフライデー&共済・生協カフェ

十一月二十八日(金)に日高支部青年部定例会の「リラックスフライデー」で共済・生協カフェをさせて頂いた。高教育会館へ行かせてもらいました。

参加者は、日高支部の青年教職員六人と井戸書記長。ケーキを食べながらほんたにリラックスした雰囲気の中で

はありましたが、予想以上に真剣に全教共済のこと、学校生協のことを聞いていただきました。

まずは、和教組がなぜ共済事業や生協事業をおこなっているのかを説明し、その後全教共済の年間パンフレット

トに基づいて、各共済の「おすすめポイント」を説明しました。特に「全教自動車保険」については、他の自動車保険と全教自動車保険の違いや、教職員が交通事故を起こした時のリスクについて説明するとパンフレットを食い入るように見てくれました。

学校生協の事業説明では、様々なサービス事業について話すと「そんなサービスがあるの、知らなかった」と驚きの声が上がりました。職場へのチラシ配布枚数が少なくなり学校生協のお得なサービス事業が知られていないことが良く分かりました。

参加者からは「いろんなことが知れてよかったです」と言っていました。

副執行委員長 野口 共

ました。カフェ終了後は、モノポリーで夜遅くまで楽しんでいただきました。

皆さん、カフェを開催したいと思ったら、気軽に和教共済までお声掛けください。

たくさんパワーをもらった リフレッシュ集会

和歌山市支部 書記長 田畑雄介

毎年恒例リフレッシュ集会！今年も参加者からの近況報告で盛り上がりしました。

一二月初旬には、一気に五名加入があったのですが、その一人が、リフレッシュ集会に参加してくれました。わきあいあいとした雰囲気を楽しんでくれたようでよかったです。



す。

また、七〇歳を超えても学校現場で頑張ってくれている大ベテランの元気な発言に、参加者は、まだまだがんばらないとなく！とパワーをもらっていました。来年完全退職しようと思っていたけど、ちよつと学校現場に関わろうかなと思ったという人もいました。近くに頑張っている人がいるって、とても勇気づけられますよね。リフレッシュ集会の名の通り、まさに集まれば元気を体現したよ

うな会になってよかったです！

一二月二六日には青年部クリパ。二月一四日にはミドルの会も予定しています。青年部は毎月一回活発に活動。ミドル層やパパママ向け企画も夏と冬に企画して、年々参加者が増えていきます。組合加入を増やすためにも、組合員が組合っていいねって思ってもらえることが大事。たくさんつながりを作って、みんなの力を結集できるようにしていきたいと思えます。

青年部定例会「リラックスフライデー」
ケーキで学ぶ共済
 ～ときどきお金系ホドケ～
11月28日(金)18:00~20:00
 ◎日高教育会館 (御坊市湯川町254)
 青年部定例会「リラックスフライデー」は、日頃忙しい先生方が毎月4日毎週に楽しい企画で集まる青年部主催の交流会です。今回は、ケーキを食べながら共済や生協の紹介や「株遊び」や「生協」の方から総合共済や自動車保険について話を聞いて、時間があれば「人生ゲーム」や「MONOPOLY」で遊んで、リラックスしながら人生とお金について考えましょう！

お申し込み・お問い合わせ【イ切：11月27日(木)】

1. 支部にTEL(0738-22-0199)
 2. 裏面申込に記入後FAX(0738-23-4656)
 3. 青年部イベント情報LINEで

和教組日高支部 ☎0738-22-0199 📠0738-23-4656



声を大にして組合の必要性を伝えたい！

一二月六日(土)に

青年部主催のソフトバレーボール大会を行いました。二三チーム、一八〇人以上の先生方に参加をいただき、大変盛り上がりました。この日のために、普段の仕事の後に集まって練習をしてくれていた学校も多々あると聞いています。きっとその中で親睦が深まったり、普段のストレスの発散ができていたりするのではないかとうれしく思っています。



ぶ姿や、一緒に悔しがる姿などがありました。短い時間ではありますが、観戦しているだけでも元気をもらえる機会だなど思いました。

ただ、それと同時に感じることもあります。二〇〇人近くも集まった人の中にどれだけの組合員がいるのでしょうか。おそらく、ほとんどが未組合員だと思います。これほどの人が集まれば、どれだけの力になるのか。一人でも多くの人に組合の意義を知ってもらいたい、加入してもらいたいと強く思っていました。

那賀支部ソフトバレー大会

そう感じている中、一人の先生が「組合ってどんなことをしているの

青年部長 野口亮太

ですか？」と聞いてくれました。青年部長を通して知ったことや、交渉の必要性などを伝えることができました。ソフトバレーボール大会でこのようなことを聞かれたのは初めてでした。とても嬉しかったです。このような機会を増やしたいと思いました。これからは、組合の良さや必要性を、声を大にして伝えていきたいと思いました。



二〇二五確定交渉を終え、感想などをいろいろな機会ですべて紹介したいと思います。

「交渉結果を職場に伝えると大きな反響があった」「拍手があった」と交渉結果を職場に伝えたときの様子を話してくれています。また、会計年度任用職員さんからは

「再度の任用回数が増えたら嬉しい」「事務職員さんからは「最終回答で事務職員への先読み追加が実現してオンライン参加していた仲間と盛り上がった」などの声も寄せていただきました。

確定交渉に参加して

会場参加した方々からは次のような声がありました。「もっと緊張感あるかなと思っていただけ、途中からでも入りやすかった」「とにかく面白かった」「いろいろな制度がこうやって決まる

ところを目の前で見られた」「役員だけでなく、いろいろな参加者が職場の人の思いを県教委に伝えていた」「個人要求書を会場に貼ってくれていたけど、今度はもっと目立つようにカラーペンで書こう」

学校現場の状況は毎日子どもたちと一緒に過ごさず私たちが一番よく知っています。教育委員会も管理職を通じたり、訪問したりして把握に努めています。子どもたちの代弁者である私たちの声が一番リアルです。教育委員会も交渉を「実りあるもの」と発言しています。

交渉後に「ご飯食べに行こう」と誘い合って、参加した青年組合員もいました。さらなる教育条件・待遇改善のために交渉に参加して、交渉の必要性をひろげていきましょう！



和教組公式LINE&インスタ



@WAKYOSO

「つながり」を大切に！ 近ブ口青年教職員学習交流集会



和教組 青年部長 山中 翔太

今回、十一月二二日（土）二三日（日）に和歌山県で近畿ブ口学習交流集会を開催しました。

一日目は全体会を行い、アイスブレイクとしてグループで自己紹介をしながら軽いゲームを行いました。はじめましての方も徐々に打ち解け大盛り上がり。その後は各分科会に分かれての交流を行いました。私は実行委員として「語り合おう部

活動問題」の分科会に前半参加して、他府県の先生が抱える部活動の悩みや、部活動を通して語り合いました。

私自身が抱えている部活動の悩みと全く同じ悩みをもった先生がいたことに驚きました。分科会終了後はホテルアパロームで交流会をしました。みんなと交流しながら食べて飲んで楽しみました。二次会にも多くの先生方が参加してくれたので、たくさん先生とお話することができ、また新しいつながりもできました。

二日目は大阪大学の高橋哲先生を講師にお招きして、給特法のことを中心にお話ししていただきました。超勤4項目のことや、いま私たちができることについてとても参考になりました。あつという間の二時間でまだまだ聞き足りないくらいでした。周囲の先生もよいお話だったと大好評でした。最後に閉会式を行い、次回開催地である滋賀県の先生に挨拶をいただき



無事大会を終えることができました。和歌山の組織の強みはつながりが強いことです。これからのこのつながりを大切に、自分のできることをしっかりとやっていこうと思います。最後になります。今回実行委員長として無事大会が開催できたこと、和教組各支部青年部長の皆さん、高教組や本部の方々。本当にありがとうございました。



年末・年始

県教育会館閉鎖のお知らせ
左記の通り会館を閉鎖しますのでお知らせします。
二月二七日（土）～一月五日（月）

和教共済WKKからの お知らせ

12月27日から1月5日まで事業センター閉鎖のため、和教共済の事務は休業となります。

自動車事故等発生時の連絡先
フリーダイヤル(24時間)
0120-36-7860

その他のご用件については1月5日以降に ☎073-436-7860 和教共済にご連絡下さい。

教職員と家族を守る

全教自動車保険

教職員の交通事故には特別な事故対応が必要です



なぜ特別な対応が必要なのか？
その理由は50秒でわかる動画で



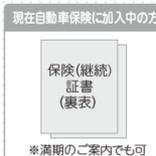
WEBでかんたん見積り依頼

かんたん
その1

どちらかご用意ください

かんたん
その2

見積り依頼ページから入力



ホームページ <https://zenkyo-kyosai.jp/car/>

全教自動車保険は、全教各教職員組合と東京海上日動が提携して行う団体・集団の自動車保険です